

# 2021年3月期 第2四半期 決算概況



キャリア実現支援企業

東証JASDAQ : 9696

<https://www.with-us.co.jp>

# 目次

## ウィザスについて

---

ウィザスとは	．．．．．	P. 3
トップメッセージ	．．．．．	P. 4
会社概要	．．．．．	P. 5

## 2021年3月期 決算業績概要（連結）

---

業績の概要	．．．．．	P. 6
-------	-------	------

## 事業別概況

---

事業別業績	．．．．．	P. 10
学習塾事業	．．．．．	P. 13
高校・キャリア支援事業	．．．．．	P. 17
その他	．．．．．	P. 23

## 株主還元・CSR活動

---

株主還元	．．．．．	P. 28
CSR活動等の実施	．．．．．	P. 29

# ウィザスとは – What is “With us” –

ウィザスグループは、学習塾事業、高校・キャリア支援事業、その他（ICT教育・能力開発事業、企業内研修ポータルサイト事業、ランゲージサービス事業、幼児・学童英語事業、ヘルスケア事業）など多様な教育ニーズに対応した幅広い分野での総合教育サービスを提供しております。



## 学習塾事業

幼児から高校生までを対象とする教科学習指導・進学受験指導ならびに能力開発指導と独自の「プラスサイクル学習法」を用いた学力指導を行う「学習塾事業」

(株)ウィザス、(株)フォレスト、(株)佑学社、(株)学習受験社、京大ゼミナール久保塾(株)



## 高校・キャリア支援事業

広域通信制単位制高等学校の運営や、中学生等を対象とするICTを活用した学校外での学習機会の提供、社会人（高卒以上）を対象とした各種資格・スキル等取得に向けた支援、海外からの留学生を対象にした日本語教育サービス等

(株)ウィザス、(株)エヌ・アイ・エス、(株)Genki Global、(株)ウィザス グローバル ソリューションズ



## その他

WEB上での速読を主体とする各種教育サービス、ICTソリューションサービスを提供するICT教育・能力開発事業、企業向け社員教育コンテンツの開発・販売を行う企業内研修ポータルサイト事業、ランゲージサービス事業、幼児・学童英語事業、ヘルスケア事業等

(株)ウィザス、(株)SRJ、(株)レビックグローバル、(株)吉香、(株)ウィザスイーライフ等

# トップメッセージ

私たちは、ウィザス独自の「プラスサイクル学習法※」の実践を通じ、生徒の「自他肯定感」向上を育むために、一人ひとりの生徒の状況や個性を尊重し、生徒自身が自分を意欲喚起でき、自己成長し続ける力を養える教育をめざしてまいります。

※プラスサイクル学習法（P. 13 ご参照）



代表取締役社長  
生駒 富男

## 【経営理念】

### 3つの貢献

#### 顧客への貢献

満足を超えた業務の遂行と  
人間力発揮を通じた貢献

Customer

#### 社員への貢献

社員・スタッフの自己成長と  
真のハッピーを通じた貢献

Employee

Society

#### 社会への貢献

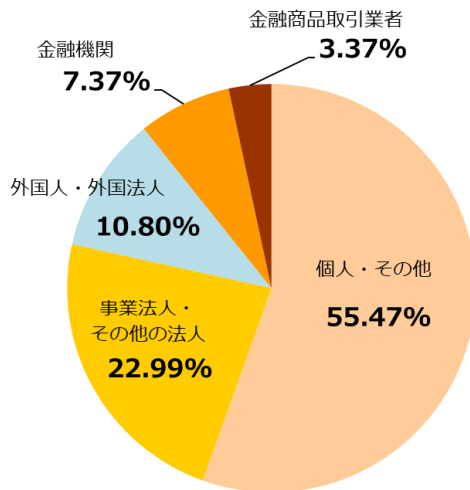
コーポレートビジョンの実現と  
業績向上を通じた貢献

## 【コーポレートビジョン】

“社会で活躍できる人づくり”を実現できる最高の教育機関をめざす

# 会社概要

- **会社名** : 株式会社ウィザス (With us Corporation)
- **設立** : 1976年7月10日
- **資本金** : 1,299百万円
- **本社所在地** : 大阪府中央区備後町3丁目6番2号 KFセンタービル
- **従業員数** : 810名 (男 : 577名 女 : 233名) ※2020年9月末現在 (連結)
- **上場市場** : 東証JASDAQ
- **発行済み株式数** : 10,440,000株 ※2020年9月末現在
- **株主構成** :



(注1) 上記は持ち株比率で表記しております。  
(注2) その他には自己株式を含んでおります。

	株主名 (2020年9月末)	所有株式数(千株)	議決権比率
1	株式会社ヒントアンドヒット	1,053	11.03%
2	堀川 直人	467	4.90%
3	堀川 明人	466	4.88%
4	ウィザス社員持株会	463	4.86%
5	GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	307	3.22%
6	株式会社学研ホールディングス	300	3.14%
7	MSIP CLIENT SECURITIES	286	3.00%
8	株式会社明光ネットワークジャパン	267	2.81%
9	日本生命保険相互会社	249	2.61%
10	堀川 一晃	221	2.31%

(注1) 上記のほか、自己株式が893千株あります。  
(注2) 議決権比率は自己株式を控除して計算しております。

## 業績の概要

当第2四半期連結累計期間における経営成績は、コロナ禍の影響によって厳しい状況で推移いたしましたが、お客様や従業員の安心・安全策の徹底を図りつつ、ICTの利点を一層活用したプログラムの開発を通じて、「主体的に学ぶ意欲や姿勢、学力の向上と生徒の自立」を促進して参りました。今後も、生徒自身が学び方を習得し、成長の実感を得られるプログラムを提供することで、学習効果への価値を一層高めていけるよう努めて参ります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は72億25百万円（前年同期比12.5%減）、営業損失は3億80百万円（前年同期は営業利益1億56百万円）、経常損失は2億96百万円（前年同期は経常利益2億9百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億90百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益38百万円）となりました。

（単位：百万円）

	2020.3 2Q 実績	構成比	2021.3 2Q 実績	構成比	対前期増減		(参考) 通期	
					金額	%	2020.3 実績	構成比
売上高	8,260	—	7,225	—	△ 1,034	△12.5%	17,592	—
売上原価	6,057	73.3%	5,510	76.3%	△ 547	△9.0%	12,039	68.4%
売上総利益	2,202	26.7%	1,714	23.7%	△ 487	△22.1%	5,552	31.6%
販売管理費	2,046	24.8%	2,095	29.0%	49	2.4%	4,145	23.6%
営業利益	156	1.8%	△ 380	△5.3%	△ 536	△343.7%	1,407	8.0%
経常利益	209	2.5%	△ 296	△4.1%	△ 505	△241.3%	1,473	8.4%
親会社株主に帰属する 四半期・当期純利益	38	0.5%	△ 290	△4.0%	△ 328	△846.9%	325	1.8%

（注）当社グループの収益構造は、新年度開始となる4月の生徒数が通期で最も少なく、その後増加していくことや、夏・冬・春の季節講習会時に売上高が通常月以上に増加することに加え、固定費や広告宣伝費等の事業運営経費については、通期を通じて経常的に発生することから、季節的な収益変動要因があります。



## 連結 BS 2021年3月期 第2四半期

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて2,331百万円減少し、12,469百万円となりました。

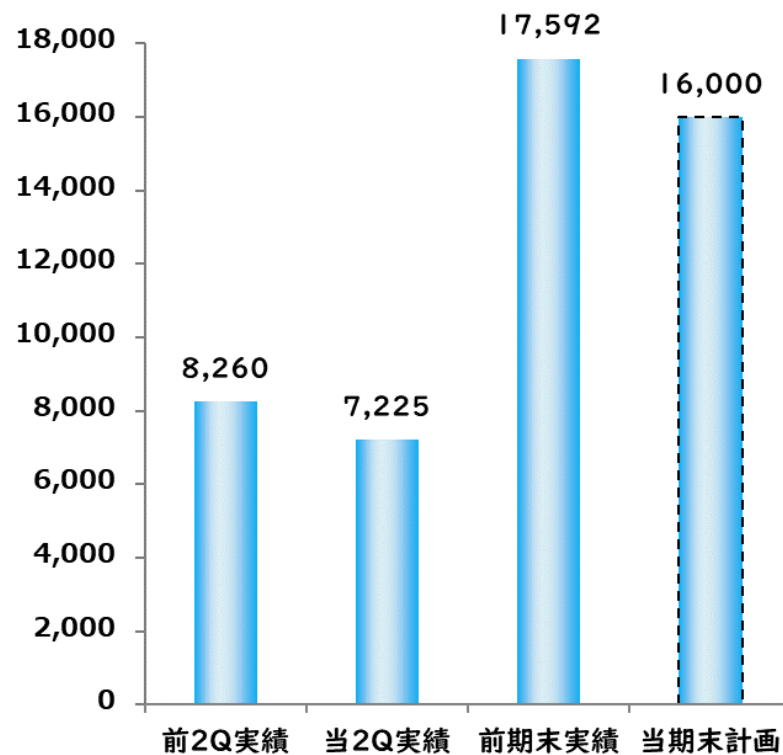
(単位：百万円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 2Q実績
<b>流動資産</b>	<b>7,944</b>	<b>5,331</b>
現金及び預金	6,899	4,533
授業料等未収入金	280	58
その他流動資産	765	740
<b>有形・無形固定資産</b>	<b>3,013</b>	<b>3,055</b>
<b>投資等</b>	<b>3,844</b>	<b>4,083</b>
<b>資産合計</b>	<b>14,801</b>	<b>12,469</b>
<b>流動負債</b>	<b>7,766</b>	<b>5,767</b>
短期借入金・1年内返済予定の長期借入金・1年内償還予定の社債	1,187	1,286
前受金	4,733	2,907
未払法人税等	378	130
その他流動負債	1,468	1,444
<b>固定負債</b>	<b>2,134</b>	<b>2,156</b>
長期借入金・社債	209	246
その他固定負債	1,925	1,910
<b>純資産合計</b>	<b>4,900</b>	<b>4,545</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>14,801</b>	<b>12,469</b>

# 連結業績推移 2021年3月期 第2四半期

(単位：百万円)

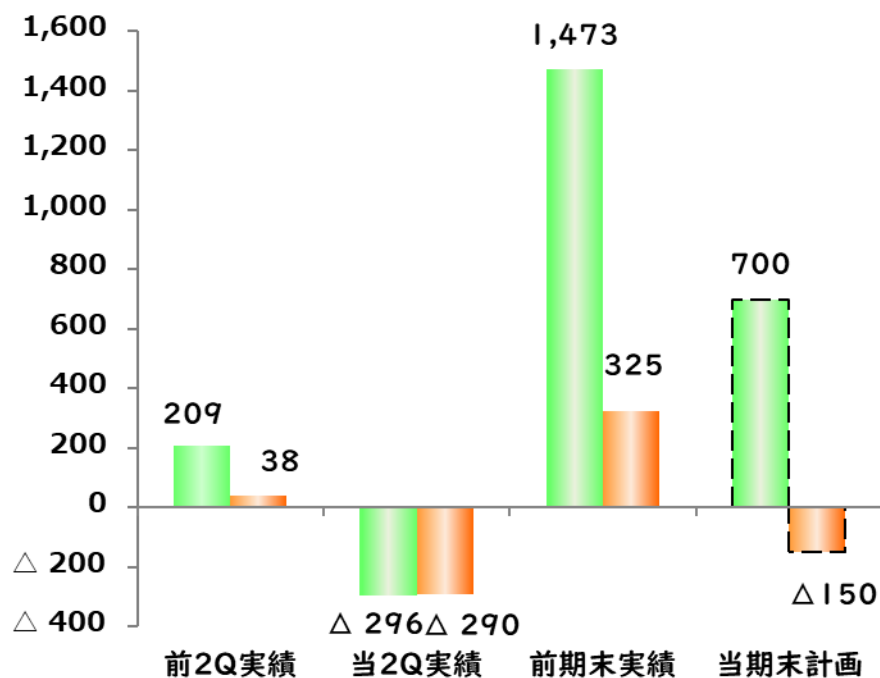
売上高



(単位：百万円)

経常利益/親会社株主に帰属する  
四半期純利益・当期純利益

■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する四半期/当期純利益





## 連結 CF 2021年3月期 第2四半期

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期末と比べて515百万円増加し、4,414百万円となりました。

(単位：百万円)

	2020年3月期 2Q累積実績	2021年3月期 2Q累積実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,337	△ 1,992
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 487	△ 389
財務活動によるキャッシュ・フロー	426	15
現金及び現金同等物の期末残高	3,899	4,414

### 主たる要因

<p>➤ 営業活動によるキャッシュフロー      △19億92百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売上債権の増減額      2億40百万円</li> <li>・ 減価償却費      2億17百万円</li> <li>・ 前受金の増減額      △18億25百万円</li> <li>・ 法人税等の支払額      △3億33百万円</li> <li>・ 税金等調整前当期純利益      △2億98百万円</li> </ul>	<p>➤ 財務活動によるキャッシュフロー      15百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短期借入れによる収入      12億00百万円</li> <li>・ 短期借入金の返済による支出      △11億00百万円</li> <li>・ 配当金の支払額      △94百万円</li> </ul>
<p>➤ 投資活動によるキャッシュフロー      △3億89百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無形固定資産の取得による支出      △1億52百万円</li> <li>・ 有形固定資産の取得による支出      △1億02百万円</li> <li>・ 保険積立金の積立による支出      △1億01百万円</li> </ul>	

# 事業別業績 2021年3月期 第2四半期（連結ベース）

（単位：百万円）

	学習塾事業		高校・キャリア支援事業	
	前第2四半期	当第2四半期	前第2四半期	当第2四半期
売上高	3,612	2,955	3,027	2,865
営業利益	294	△ 5	571	478

	その他		調整額	
	前第2四半期	当第2四半期	前第2四半期	当第2四半期
売上高	1,620	1,403	-	-
営業利益	22	△ 34	△ 731	△ 818

（注）営業利益は本社経費配賦前営業利益となります。

## 全国219校

(2020年9月末現在)

変化する地域ニーズに応じた校舎規模・設備・業態等、環境の最適化を図るため、出店・増床・減床・統廃合を行うことにより、競合力と経営効率を強化しております。

### 新規



第一学院高等学校 湘南藤沢キャンパス

### 新規



早稲田イーライフ 河内長野

※早稲田イーライフは  
株式会社ウィザスイーライフが運営しております。



# 事業展開

当社グループは、総合教育サービス企業として、学齢や指導形態等、多様な顧客ニーズに対応するブランド形成を図っております。海外からの留学生を対象とした日本語教育サービスの提供やランゲージサービス事業等、事業領域を積極的にひろげております。

セグメント	会社名/事業	ブランド名	対象				
			幼児	小学生	中学生	高校生	社会人等
学習塾事業	(株)ウイズ	生徒第一...だから 第一ゼミナール		←→	←→		
		ファロス個別指導		←→	←→		
		第一ゼミナール PASSPORT		←→			
		SUR 合格指導会 大学受験 (シュール)			←→		
		MedSUR (メッドシュール)				←→	
	(株)学習受験社	GAZ (ガゼット)	←→	←→	←→	←→	
	(株)佑学社	佑学社・大阪教育		←→	←→	←→	
	(株)フォレスト	国語学習会		←→			
高校・キャリア支援事業	(株)ウイズ	生徒第一...だから 第一学院高等学校			←→		
		第一学院高等学校 専攻科					←→
	(株) エヌ・アイ・エス	ic NAGOYA					←→
	(株) Genki Global	Genki JAPANESE & CULTURE SCHOOL					←→
	(株) ウィズグローバルソリューションズ	With-us Global Solutions					←→
その他	ICT教育・能力開発、 ランゲージサービス、 幼児・学童英語、 企業内研修ポータルサイト、 ヘルスケア、広告等	SRJ JASDAQ 上場企業グループ KIKKO For Better Communication REVIC GLOBAL 株式会社レビックグローバル Blue Dolphins BREEZE Inc. e-life					

# 学習塾事業：独自の教育プログラムによる成長支援と顧客満足度の追究

## 生涯“学び続ける礎”を身につける

進学塾として、「成績向上と志望校合格」に全力を注ぐのは当然のこと。我々がめざすのは、それにとどまらない、生徒一人ひとりの未来を見据えた指導です。受験勉強を単なる詰め込みで終わらせず、将来に生きる「自ら意欲的に考え、学ぶ力」、ひいては異文化理解や多文化共生といった、これからの社会で増々必要となる力の源泉を育くむ機会と位置づけ、社会で活躍できる人づくりを推進します。

### 【1】独自の意欲喚起教育

創業以来培ってきた意欲喚起教育を更に進化させ、「社会」や「将来」について知り、未来を「自分ごと」としてとらえ、「将来に向けて、今何を学ぶべきか」という「自己理解」を深めることで、学習意欲の向上につなげていきます。

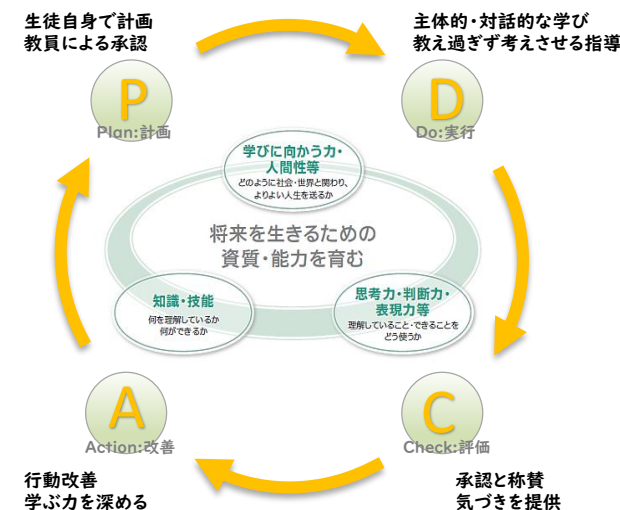


### 【2】プラスサイクル学習法

プラスサイクル学習法とは、当社40年間の指導経験に、最新の脳科学の研究成果を活かした第一ゼミナール独自の教育プログラムです。生徒自身のやる気を引き出して継続させることで、塾でも学校でも家庭でも、主体的に学習に取り組む姿勢を育み、一人ひとりの成績向上・志望校合格をサポートいたします。

### 【3】対話を繰り返し、学びに向かう力を育む

生徒が一人で考えるのではなく、節目で教員や先輩との対話を通じて学びを深め、主体的に課題を解決する力を育むことを重視しています。対話的な学びを深めることで、思考力育成と次の自発的な意欲につながることを、長年の経験からも確信しております。



# 学習塾事業：学び続けるための育成プログラムを体系的に設計

思考力・判断力・表現力など、これからの社会で一層求められる力は、生涯様々な場面で活躍する礎になるものです。低学齢から体系的にプログラムを設計することで、一人ひとりの目的を実現させる力を育みます。

## ■ことばの学校

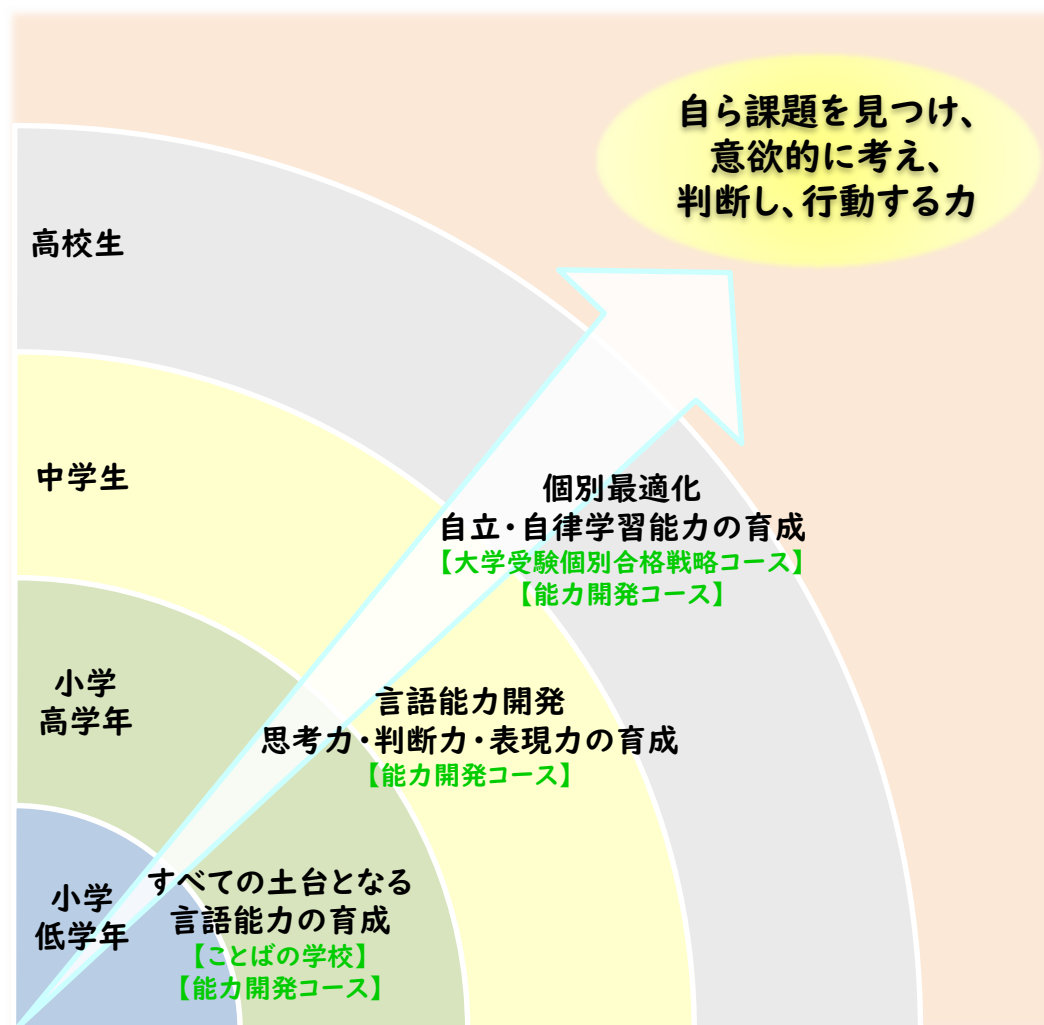
全ての学習の基盤となる「言語能力」に特化して育成を行います。厳選された良書の多読と読書ワーク作成を繰り返し、ことばの運用を生きた表現から学びます。豊かなことばの力を身につけることで、学習面だけでなく生活面でも大きく可能性を広げていきます。

## ■能力開発コース

「読解力」「思考力」「速読力」を中心に同時複合的に育成します。これからの入試は主旨を速く正確に読み解く力が更に重要になってくると考えられ、能力開発コースでは小学校低学年から高校生まで体系的に求められる力を育てていきます。

## ■大学受験個別合格戦略コース

ICTを活用して、学習方略を個別最適化するとともに、専属のチューター講師が、家庭学習も含めた全ての学習時間を把握し、寄り添い、やる気を引き出し、継続させます。これらのサイクルによって成長を実感し、身につけていく自立・自律学習力は、社会に出てからも活躍できる源になると考え、ICTと人の力を合わせて育成に取り組んでおります。





# トピックス：学びの効果を実感する「体験型オンラインイベント」

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の一環として、学習塾事業では各種イベントのオンライン化に取り組んでまいりました。感染対策に留まらず、ICTの強みを活かす形で各種取組に工夫を加え、顧客満足度の向上に努めております。

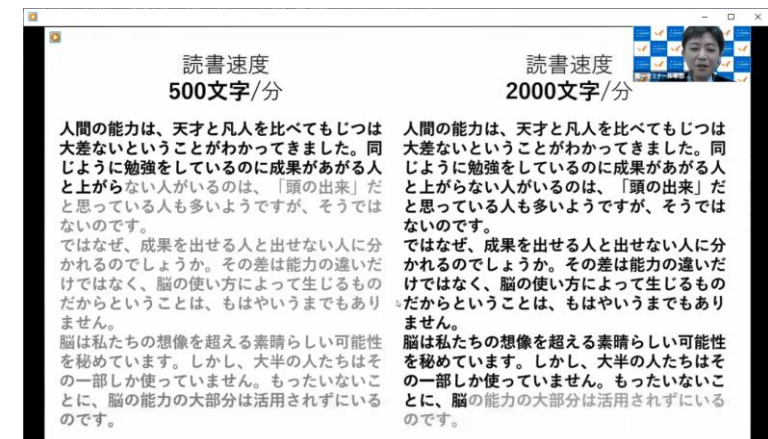
## ■ 保護者同伴で、学びの動機づけと効果を実感

情報の提供はもちろんのこと、ICT活用による実体験が伴うことで、学ぶ楽しさや必要性を保護者の方にも実感して頂きやすくなりました。「学びに向かう力」「思考力・判断力・表現力」など、教育課程や入試で新たに評価される観点も体験型イベントにすることで、なぜ必要なのか、どのように身につけるのかを実感して頂きやすくなりました。



## ■ 速読体験、「やったらできた！」を自主性に繋げる

言語能力を育成する能力開発コースにおいてもオンラインによるイベントを実施しました。読書速度の計測や「かたまり読み」の体験等を取り入れ、親子で効果を実感できる内容へブラッシュアップし、より効果的に学びの動機づけを行い、他の学習への意欲向上にも繋げています。



<その他オンライン化した主なイベント>

- 大学入試ガイダンス
- 理科実験教室
- 意欲喚起講座

# トピックス：オンライン英語レッスンで高い生徒満足度を獲得

学習塾事業の第一ゼミナールでは、集団授業を受講している中1・中2生全員に対して、今春よりオンライン英語レッスンを実施しています。今夏には受講生全員に対して生徒アンケートを実施（実施期間2020年7月30日～8月8日）、コンテンツ・教員に対する高い満足度はさることながら、英語学習に対する意欲を向上させる役割も果たしています。

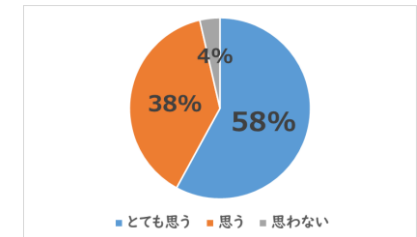
## ■オンライン英語レッスンは充実した時間になっていますか。

生徒コメント（一部）

- 一対一で外国人と話す機会は中々ないので貴重な時間だと思います。
- もっとここを勉強すればいいというのを学んだいい機会だったと思います。

とても思う＋思う

96%



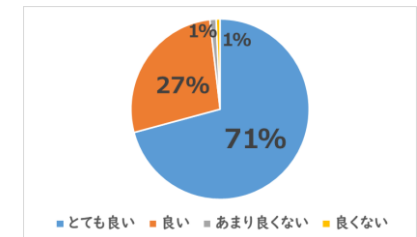
## ■レッスンを担当する外国人の印象や対応を教えてください。

生徒コメント（一部）

- 英語が伝わったとき、一緒に自分のことのように喜んでくれた。
- 一生懸命に聞き取ろうとしてくれるので、話していて楽しいです。

とても良い＋良い

98%



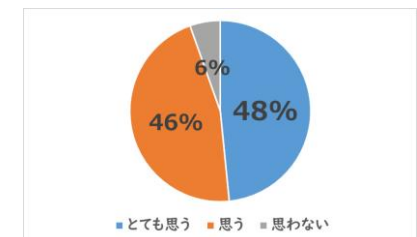
## ■英語を話すことは、もっと英語を学ぼうと思うきっかけになりそうですか。

生徒コメント（一部）

- 単語を覚えて実際に合った外国人の人と会話できるようになりたい。
- オンライン英語レッスンのおかげで、英語にもっと興味をもつようになりました。

とても思う＋思う

94%





# 高校・キャリア支援事業：独自のICT教育 日本語教育サービスも展開

## 高校事業

### 第一学院高等学校

構造改革特区の認定を受けた株式会社立の広域通信制高校で、東日本に「高萩本校」、西日本に「養父本校」の2校を設置しております。創立からの「生徒第一」「1/1の教育」の想いを大切に、「未来社会で活躍できる人づくり」に全力で取り組んでおります。

独自のICT教育を推進しており、全生徒を対象にタブレットを使用し、映像・音声による授業配信とともに、レポート作成・提出・進捗管理を一体的に行っております。

#### 設置コース

- 通学型 標準コース、高大一貫コース、特別進学コース、総合コース、特化コース、芸能コース、スポーツコース、eスポーツコース、美容コース、ペットコース、本校通学コース等
- 通信型 Mobile HighSchool（通信コース）



高萩本校（茨城県）



養父本校（兵庫県）

## 日本語教育サービス事業



主にアジア圏からの留学生を対象にした日本語教育サービスを提供しております。国籍・性別・年齢を超えてコミュニケーション能力を上げ、世界的な視野で考え行動できる人材を育成し、地域社会・国際社会に貢献してまいります。



日本語習得を希望するヨーロッパの学生、社会人を対象に、日本語を学ぼうとする一人ひとりの学習者に寄り添いながら、日本語の特質や価値観・習慣・日本文化を伝え、地域交流や様々な体験イベントを通じて、諸外国からの日本理解に貢献してまいります。



日本語教師養成事業で実績のあるアルファ国際学院と共同で、日本語教師の養成校を運営しております。「420時間総合講座理論通信」は、文化庁届出受理講座です。

# 高校・キャリア支援事業：第一学院高等学校の特色ある専門コース

通信制高校としての特色を活かして、生徒の興味・関心に応じた魅力あるコースを展開し、多様なスペシャリスト育成に貢献してまいります。

## 特化コース

デジタルハリウッド大学／デジタルハリウッドと提携。プロの講師陣から実践的に学びます。

ICTスキルやプログラミングなど、これからの時代で一層必要となる力を、プロの講師陣から実践的に学びます。



## 芸能コース

渡辺プロダクショングループの『渡辺高等学院』と提携。

プロ講師から芸能デビューに直結した専門レッスンを受けることができます。



## 美容コース

美容専門学校との提携。美容のプロになるための専門知識（エステやネイル・メイクなど）やプロの技術を実践的に身につけます。



## eスポーツコース

2020年4月にコナミグループ「esports 銀座 school」と提携。ゲームの実技だけでなく、セルフプロデュースやコミュニケーション、動画編集・配信といった幅広いカリキュラムを学びます。



## スポーツコース

安定した実績を誇るサッカー部に加え、2020年4月にスノーボード部・スケートボード部を新設。文武両道のアスリートを育成します。



## ペットコース

ペットに関する分野で活躍するために、ペット業界のビジネスからペットの美容・健康に関することまで、幅広い専門知識を身につけます。

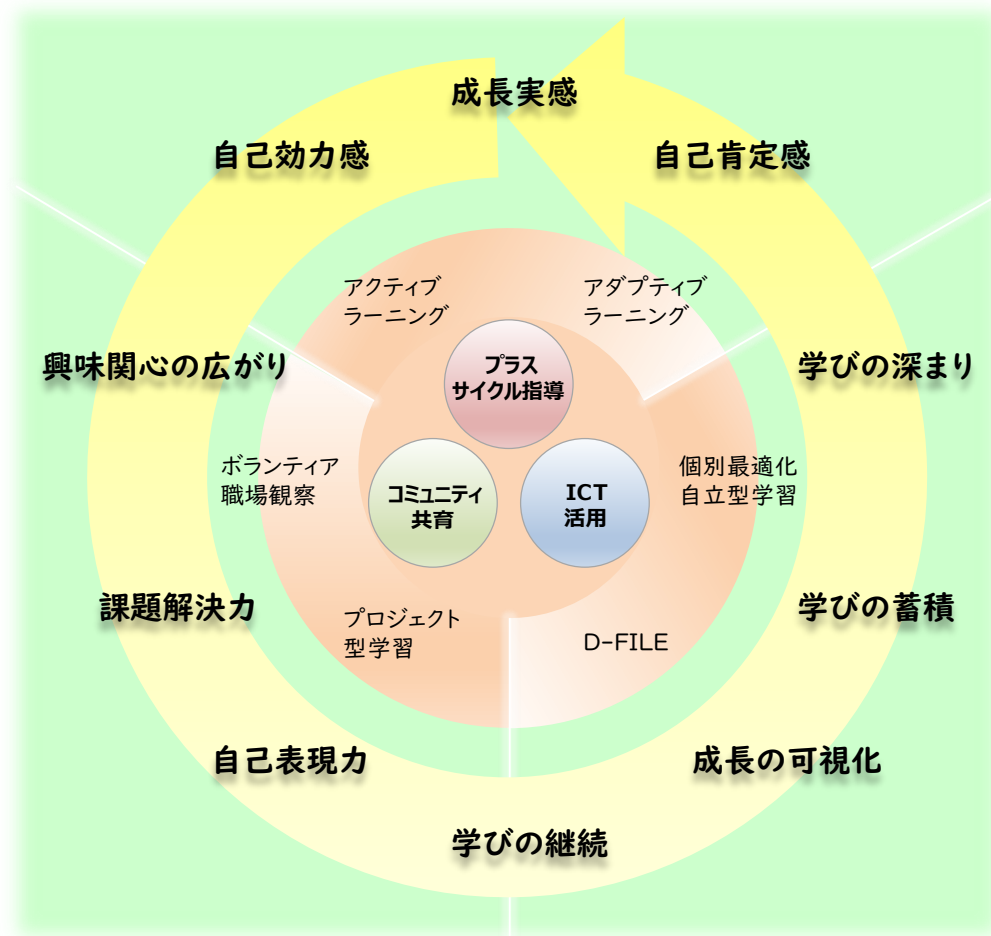


# 高校・キャリア支援事業: 自発的な成長を促し、可能性をひろげる

第一学院では、プラスサイクル指導、コミュニティ共育、ICTの活用を中心に、生徒の成長度No. 1の教育機関であることを目指しています。3分野の観点を複合的に作用させる独自の教育モデルを構築しており、提携法人ならびにグループ内外の協業を更に強め、新たな教育価値の提供に取り組んでいます。

## 生徒の成長を複合的に引き出す取り組み

教科学習面ではもちろんのこと、地域社会との関わりの中で学ぶコミュニティ共育においてもICT技術を活用し、成長の可視化を行うことで意欲喚起に繋がっています。それぞれの手法を様々な教育場面で複合的に提供していくことで、生徒の成長を加速させていきます。



# 高校・キャリア支援事業：成長を可視化し、自信を深め、主体的な行動へ繋げる

いままでは見えづらかった「成長の実感と実績」を、いつでも目に見えるようにすることで、感じやすくしております。「デジタル自分未来史ファイル（D-FILE）」では、第一学院オリジナルの「成長度 MAP®アプリ」、そして「Feelnote」の2つの仕組みを使い、日々の記録を行います。学校生活の中で蓄積される一人ひとりの記録を振り返り、周囲からのフィードバックを通して気づきを広げ、深め、更なる成長を引き出していきます。

## ■ 成長度MAP®アプリ

生徒一人ひとりの成長の記録となる、第一学院のオリジナル教材。生活面や学習面での自分の「今」をアプリに記録し“見える化”することで、変遷に気づきやすくしています。振り返りの機会に他者とも共有し、成長を引き出します。

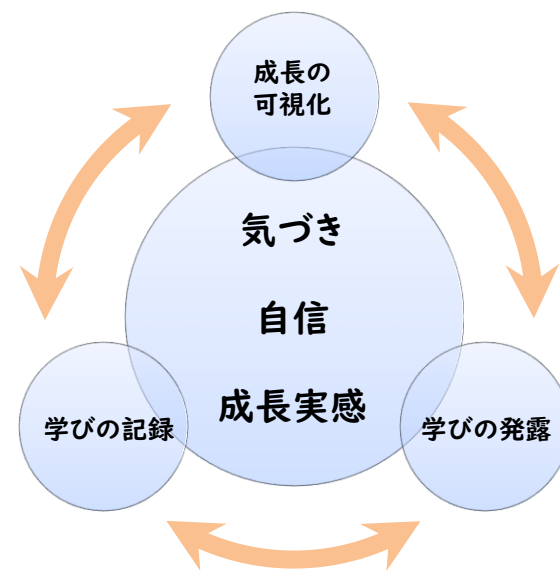


## ■ Feelnote

SNS型ポートフォリオ作成支援システムのFeelnoteを活用して、学んだ証と課外活動での成果物などをデータで記録・蓄積していきます。教員から活動の記録に対して随時フィードバックを行うことで、一つひとつのプロセスに意味づけを行っていきます。

## ■ 成長実感発表会

自分が学校生活で取り組んだこと、力を入れたことをテーマに設定し、プレゼンテーションや資料展示など自分で選択した方法で学びの成果を発表します。伝えることで活動の総括を行い、次の行動への原動力を生み出しています。





# トピックス：第一学院中等部、早期支援により将来への可能性をひろげる

「教育機会確保法※」の施行から約3年半が経過し、不登校の捉え方において、社会的な風潮の変化が現れつつあります。心理的な負担を抱えている場合には、学校に行かないことも選択肢の一つとして考えられるようになり、多様な学び方・価値観が受け入れられるようになってきています。第一学院中等部では、生徒一人ひとりの状況・個性・価値観に寄り添い、第一学院高等学校への進学後も生徒それぞれの可能性を大切に育んでいます。

※教育機会確保法…学校復帰を前提としていた従来の不登校対策を転換し、学校外における多様な学びの場の提供を目的とした法律。

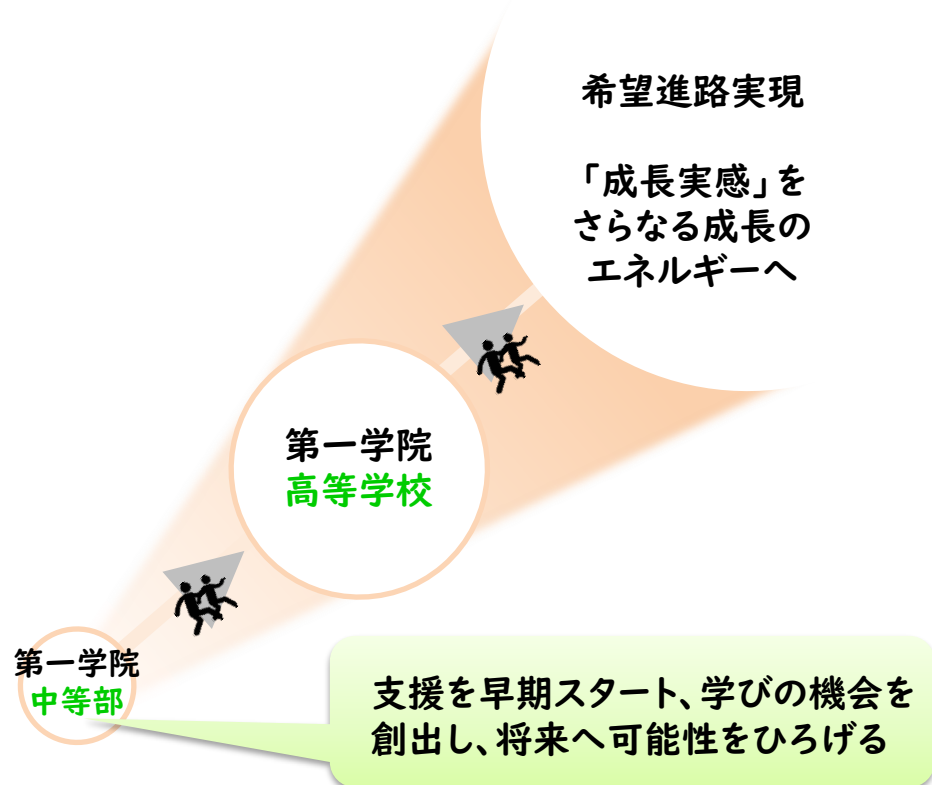
## ■ 学びの機会を提供し、共に将来を考える

第一学院中等部では増加する中学不登校生との接点をもつ機会を早めることで、一人ひとりの将来への可能性をひろげる役割を担っています。

状況に合わせた学びの機会を提供し、第一学院高等学校との連携により多様な進路を提案、生徒・保護者の心情や価値観に寄り添いながら支援を行います。

また、高等学校卒業後もプロのキャリアカウンセラーが常駐しているキャリアサポートセンター等を通じて、継続して進学・就職等をサポートしています。

第一学院中等部は、一貫した支援の出発点であり、これからの自分を共に考えていく同士・仲間として生徒と共に歩んでまいります。



# トピックス：中等部、オンライン中心で学びと対話を深め、将来へ繋ぐ

第一学院中等部では、中学生年代を対象として、ICTを活用したオンライン中心の多様な学びの機会を提供しています。理解度に合わせた学習プログラム、オンラインでのコミュニケーションなど、長期にわたり生徒一人ひとりに向き合い「1/1の教育」に取り組んできた第一学院グループならではの支援を行っています。

## ■ 状況と理解度に合わせた学びと対話の機会を提供

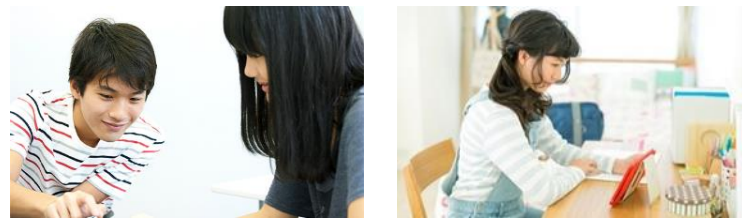
第一学院中等部では、AI搭載のデジタル学習教材や教員のサポートにより、一人ひとりの理解度に合わせた学習プログラムを提供しています。オンラインでのコミュニケーションを通して、時間や場所を選ばずに、無理なく最適なペースで学習に取り組むことができます。

また、キャンパスへの登校機会も設定し、オン・オフ両面を通じた多様なコミュニケーションの経験を通じて、一人ひとりに寄り添いながら将来を共に考えていきます。



## ■ 中学校での出席認定について

在籍中学校との連携に基づき、第一学院中等部での学習の成果が、中学校での出席として認められる可能性があります。第一学院中等部では、教育機会確保法の趣旨を鑑み、文部科学省の通知要件に基づく報告作成などの対応を用意しています。



## その他 ICT教育・能力開発事業

ICT教育・能力開発事業では、小学生から社会人までの幅広い年齢層を対象に、自立学習型能力開発ポータル「TERRACE」等を制作・販売しております。さらにICT教育ソリューション・サービス事業として学習塾・学校の講座運営にあわせてベストなICT教育環境の導入から環境支援、運用支援をワンストップサービスで提供しております。

### 言語能力を育む自立学習システム



「TERRACE」の講座の一つである「速読解・思考力講座」は、全国の学習塾や学校等、約2,200教室で導入されています。「TERRACE」では、20年以上培ったノウハウをもとに設計された速読トレーニングをベースに、近年注目されている「読解力」「思考力」「速読力」を一つのアプリ内で総合的に学ぶことができます。また、速く正確に読む・聴く力を鍛える「速読聴英語講座」（約1,300教室で導入）や、物事の本質を考え、情報編集力を養うアクティブラーニング授業を展開する「表現力コースよのなか科」、「社会人速読」にも展開をひろげ、幅広い年齢層に対応しております。



2020年の「TERRACE」は、速読解力・思考力・表現力各コースのリリースに続き、9月からは従来の「速読英語」をリニューアルする形で、リーディングとリスニングの2技能を中心にトレーニングできる「速読聴英語講座」を本格始動しました。コロナ禍の影響も相まってICT教育の需要が高まる中、ICT教育・能力開発事業では、日本のICT教育事業の成長に貢献し、受講生の能力向上に向けた様々なニーズに応えられる教育サービスの提供に努めてまいります。



# トピックス：オンラインセミナーで家庭と塾・学校をつなぎ、子どもを支える

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、子ども達を取り巻く学習環境は大きく変化してきております。次年度に向けて、授業内でICT活用を検討している学習塾・学校も多い中、株式会社SRJでは授業の運営方法や成績への影響等について、事例紹介を通したオンラインセミナーを各方面に実施、導入に向けたサポートの強化に取り組んでおります。

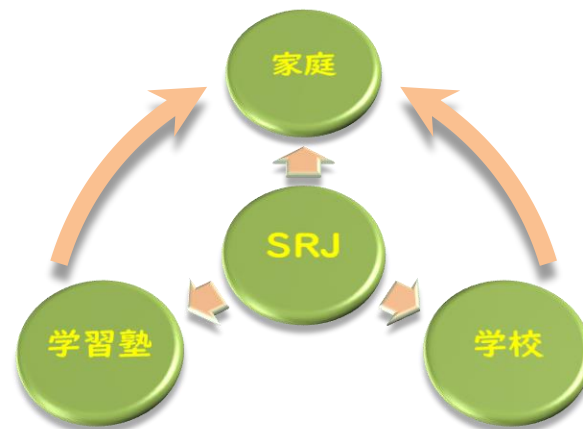


## ■学習環境の変化に機敏に反応し、ICTで新たな学びを拓く

新型コロナウイルス感染症の影響により、この半年間でICTを活用した授業や自宅学習は日常的風景になり、感染収束後も積極的な選択肢になると思われます。

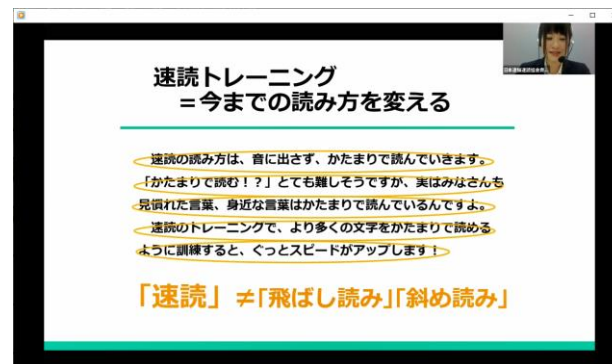
SRJではICT教材「速読解講座」「速読聴英語講座」等の実際の運用事例をお聞きいただくオンラインでの事例講演会を継続的に開催、導入に際して具体的なイメージをもていただく場を提供しています。

また、ご家庭にはトレーニング体験を通した全員参加型のオンラインセミナーを実施、速読についての知識やその効果を親子で実感していただく機会を提供しています。



### ＜実施した主なオンラインセミナー＞

- 「速読解力講座」体験セミナー（対象：未就学児～大人）
- 学校でのICT活用事例紹介セミナー（対象：学校の先生方）
- 「速読聴英語講座」活用事例紹介セミナー（対象：学習塾等教育機関の先生方）
- 「速読解力講座」を活用した集客セミナー（対象：学習塾関係者）





## その他 企業内研修ポータルサイト事業

三井住友銀行をはじめとするメガバンクやメガ損保、国内自動車メーカー等の大手製造業、SGホールディングスグループ等の大企業における社員研修や営業研修等の法人向けオンライン教育サービスを提供しております。社内教育・研修を最適化する学習ポータルの運営から、eラーニング教材の開発・販売、ナレッジ継承による人材育成・開発を行っております。

### 社内教育システム構築サービスの提供



#### ■ SmartSkill Global

今日企業ではグローバル化の広がりにより、国境の枠を超えて、業務・サービスの品質を高めることが必要となっています。SmartSkill Globalは「人材育成をグローバル視点で行うための仕組みづくり」を実現するクラウドタイプのLMSです。グローバル企業が抱える課題となっていた商品知識やノウハウ、企業理念等の浸透を、多言語対応のeラーニングシステムにより、世界各地の従業員に対して均等に図ることが可能です。



#### ■ SmartSkill Campus

社内研修に必要な資料や事前事後の課題等を一元的に管理・共有、受講者の階層に応じたeラーニング教材を活用することで教育プログラムの効果を高めます。また、組織内に散在するナレッジや情報の共有を行うことで、業務レベルの向上や均質化も行い、組織全体の仕事を向上させることに貢献します。



#### ■ その他主なeラーニング製品

- ・ マイクロeラーニング SmartOJT Library
- ・ 内定者/新入社員研修・教育
- ・ 人材育成（グローバル人材、管理職、若手中堅社員向け）
- ・ 会計/財務
- ・ MBA



## その他 ランゲージサービス事業

株式会社吉香では、通訳・翻訳の分野において90カ国にのぼる多様な言語対応、24時間体制での国際報道サポート等、独自性の高い事業運営を手掛けるとともに、語学力の高いスペシャリストを派遣し、語学教育や社内通訳等の高度人材サービスを展開しております。



### <事例紹介>

#### 文化財団主催の東京オリンピック、 パラリンピック関連会合での日英逐次通訳

2021年開催予定の東京オリンピック、パラリンピックに向けての文化財団主催の会合で、英語⇔日本語の逐次通訳を担当いたしました。日本の大臣クラスや海外からのゲストなど、クールジャパンにかかわる文化人・知識人の方々のメッセージの授受を円滑に行いました。



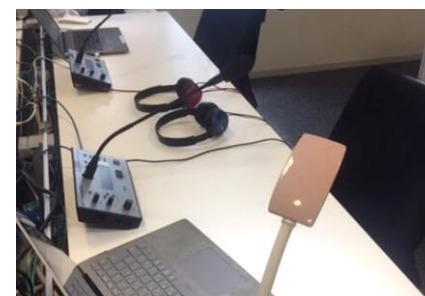
#### 米国大手流通・量販店CEOのテレビ出演

テレビの収録現場で出演者や番組スタッフがライブでゲストとコミュニケーションを取るための通訳業務です。英語⇔日本語の同時通訳ではありましたが、出演者の業種も指定されているため、限られた条件での優れた通訳者を起用しております。



#### オンライン会議リモート同時通訳サービス

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、テレワークが世界中で推奨される中、海外と遠隔で結んだオンライン会議の需要は日々増しております。吉香では社内リモート同時通訳の特設ブースを設置しており、オンライン会議での通訳ニーズに対応しております。



## その他 幼児・学童英語事業

英語で学ぶ。英語をみかく。



### プリスクール（2歳～小学生）

#### イマージョン教育による自然な英語習得

ブルードルフィنزでは、英語圏の子どもたちが言葉を学ぶのと同じように、遊びや生活を英語で行う、イマージョン教育を行っています。

英語を浴びるように聞き、学び、発音してみることで、自然に英語を身につけることができます。



### アフタースクール（5歳～小学生）

#### 1日最大6時間、英語で過ごす学童保育

日常で使える英語指導だけでなく、英検受験サポート体制も充実しています。アフタースクール（学童保育）として宿題もサポート。

イマージョン教育やブルードルフィنزオリジナルのカリキュラムで世界の文化を学びながら、コミュニケーション能力と「聞く、話す、読む、書く」の4つの英語スキルをブラッシュアップすることができます。





## 株主還元

当社は株主の皆様に対する利益還元を最重要課題のひとつと考えております。利益配分の基本方針としては、将来における企業成長と経営環境の変化に対応するための投資や強固な財務体質構築に資する内部留保金を確保しつつ、継続的な配当による株主の皆様への利益還元を積極的に行い、安定配当に主眼をおいた考え方を取っております。

期	年度	1株当たり配当金 (円)	純資産配当率 (%)	利回り <sup>(注1)</sup> (%)	株価 (期末終値) (円)
42期	2018.3	16.00	3.6	3.75	427
43期	2019.3	16.00	3.4	3.94	406
44期	2020.3	16.00	3.3	3.16	506
45期予想 <sup>(注2)</sup>	2021.3	16.00	—	—	—

単元株数は100株となっております。

(注1) 利回りは、各期3月末日時点の株価で算出しております。

(注2) 第45期につきましては、普通配当として中間配当6円、期末配当予想10円となっております。



# 環境保全活動、CSR活動等の実施

## 環境保全活動

### 第一ゼミエコ★プロジェクト

当社では、“「**世界の子ども**」と「**地球の未来**」を創る”をテーマとする「ペットボトルキャップ回収」に取り組んでおり、キャップの売却益が「世界の子どもにワクチンを日本委員会」へワクチン代として全額寄付されます。

#### 活動継続中

キャップ回収 : 5,933,169個

ワクチン : 7,416人分

CO<sub>2</sub>削減 : 46,724Kg



■キャップ800個  
→ポリオワクチン1人分

■キャップ400個  
→3.15kgのCO<sub>2</sub>削減

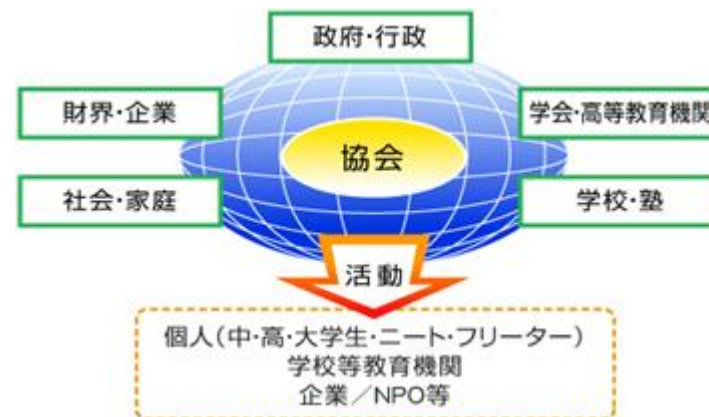
※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、回収しているキャップの集計を一時停止しております。上記報告数は2020年4月10日時点のものとなります。



## 社会貢献活動

### キャリア教育事業を通じた活動

青少年と行政・企業・教育機関等とのキャリアネットワーク形成を推進する「一般社団法人 共生と共育ネットワーク」の受託業務において、収益事業としてではなく社会貢献活動の一環と位置付け、全国の保護者・団体等への講演・相談会を行うと同時に、キャリア教育や情報リテラシー活用の研修などを推進しております。





**東証JASDAQ : 9696**

お問合せ先 株式会社ウィザス 統括支援本部 経営戦略チーム

**【TEL】 06-6264-4205**

**【Mail】 [webmaster@with-us.co.jp](mailto:webmaster@with-us.co.jp)**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。